

**平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表**  
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 6 月 8 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市福祉公民館・八戸福祉体育館			
所在地	八戸市類家四丁目 3 番 1 号			
施設概要	<p>《設置目的》 福祉公民館…市民の福祉増進を図るため、社会福祉及び市民の生活の維持向上の場として設置されたもの。 福祉体育館…勤労身体障害者のスポーツの普及振興を図り、健康の増進と勤労意欲の高揚に資することを目的として設置されたもの。</p> <p>《建物構造》 福祉公民館…鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 2 階建塔屋 1 階建 福祉体育館…鉄骨造（一部コンクリート造）平屋建</p>			
指定管理者	名称	三八五ふれあいネット		
	代表者	三八五バス株式会社 代表取締役 新井山 長吉		
	所在地	八戸市江陽二丁目 18 番 37 号		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務	<p>(1) 福祉公民館、福祉体育館の使用の許可に関する業務</p> <p>(2) 福祉公民館、福祉体育館の施設、設備等の維持管理に関する業務</p> <p>(3) その他市長が必要と認める業務</p>			
市所管課 (問合せ先)	福祉公民館		福祉体育館	
	福祉部	福祉政策課	福祉政策グループ	福祉部 障がい福祉課 障がい福祉グループ
	電話	0178-43-9258 (直通)		電話 0178-43-9106 (直通)
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp		E-mail shogaif@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉公民館及び体育館のボイラー配管・パネル改修工事の影響もあり、来館者数及び利用件数ともに、前年度の実績を上回ることができなかった。</li> <li>高齢福祉課と連携し、高齢者の健康づくりのために「筋力トレーニング・音楽療法」を行い、健康への関心や意欲の高揚に寄与した。</li> <li>市民の健康づくりのために「エアロビ体操、ルーシーダットン(タイ式ヨガ)、カラオケ教室等」自主事業を行った結果、参加者の健康への関心や意欲が高まり、体力の維持・向上に向けた積極的な取組につながった。</li> <li>チャリティー事業である「福祉公民館ふれあいまつり」を自主事業として行い、市民活動の拠点としての役割を果たした。</li> </ul>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度は、福祉公民館でエアコン工事、体育館でトイレ工事が予定されているため、利用者が計画的に利用できるよう、情報を発信する。また、利用者に不便を感じさせないよう、施設・設備の点検と整備を行う。</li> <li>多くの市民に親しまれる福祉公民館にするために、各団体との連携を深めながら、利用者の要望や意見も取り入れ、利用者が楽しく活動できるような事業を更に工夫していく。</li> <li>事業内容や職員の対応等について、常設の御意見箱に寄せられる意見などを参考として、必要に応じて改善をし、利用者から親しまれ喜ばれるような運営を目指していく。</li> <li>職員は、関係法令・条例を遵守し、利用者の公正・公平な利用を確保する。</li> </ul>

## ■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な施設管理が実施されていた。</li> <li>・利用者への対応が適切に行われ、適正な管理・運営がなされた。</li> <li>・自主事業については、施設設置目的に合致した講座等を開くなどして、市民への周知を図りながら利用者の増加に努めており、評価できる。</li> </ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	開館時間延長や休館日を減らすなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	◎	管理運営をするために必要な人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していなかったが雇用していた場合 (選定時未加点)	◎	募集時の提案通りの雇用となった。 ・障がい者2人を雇用した。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合 (選定時加点)	○	提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われた。 ・福祉団体との共催で「福祉公民館ふれあいまつり」を開催
従事者の教育・研修	○	従業員の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急時に対する対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されており、作成、受領した文書の適切な管理がなされていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等の提出や内容が適切であった。
使用料の徴収事務 ※徴収委の場合	○	使用料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座で管理し、経理区分が整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	20年度から22年度まで、23年度から27年度まで及び28年度から32年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	20年度から22年度まで、23年度から27年度まで及び28年度から32年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が設置条例に従い適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
福祉公民館・福祉体育館 利用状況	○	利用件数及び利用者数ともに前年度を下回ったものの、ボイラー配管及びパネル改修工事により、公民館は9月から12月まで一部休館であったほか、体育館は11月から3月半ばまで約4ヶ月半の間休館であったことを考慮すると、概ね目標(前年度と同程度)を達成できたと判断できる。 28年度実績 4,288件 96,212人 29年度実績 3,466件 87,090人
その他利用状況	◎	幼児・子供の健康づくりのために、キッズサッカーを行っている。今年度は、従来からの小学生に加え、新たに中学生を対象として実施した。 28年度 400人 29年度 700人
自主事業	○	29年度も「体力・健康・生きがいづくり講座」や「福祉公民館ふれあいまつり」を開催するなど、自主事業を開催した。
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	8月から9月にかけて、福祉公民館・福祉体育館のPRと利用者を増やすため、各団体、諸機関の訪問活動をした。

## 3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																				
指定管理業務の収支状況	○	(単位：円)																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>31,905,200</td> <td>31,905,200</td> <td>32,347,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>8,682</td> <td>8,682</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,913,882</td> <td>31,913,882</td> <td>32,347,000</td> </tr> <tr> <td>支出②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>12,549,000</td> <td>12,264,237</td> <td>12,612,413</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>17,443,882</td> <td>14,253,953</td> <td>14,747,477</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>924,000</td> <td>697,077</td> <td>836,007</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>997,000</td> <td>1,200,910</td> <td>1,154,494</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,913,882</td> <td>28,416,177</td> <td>29,350,391</td> </tr> <tr> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>14,110</td> <td>8,682</td> </tr> <tr> <td>収入－支出 (①-②-③)</td> <td>0</td> <td>3,483,595</td> <td>2,987,927</td> </tr> </tbody> </table>	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①				指定管理料	31,905,200	31,905,200	32,347,000	修繕料繰越金	8,682	8,682	0	計	31,913,882	31,913,882	32,347,000	支出②				人件費	12,549,000	12,264,237	12,612,413	維持管理経費	17,443,882	14,253,953	14,747,477	事業費・一般事務費	924,000	697,077	836,007	租税	997,000	1,200,910	1,154,494	計	31,913,882	28,416,177	29,350,391	次年度修繕料繰越金③	0	14,110	8,682	収入－支出 (①-②-③)	0	3,483,595	2,987,927
		項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																	
		収入①																																																				
		指定管理料	31,905,200	31,905,200	32,347,000																																																	
		修繕料繰越金	8,682	8,682	0																																																	
		計	31,913,882	31,913,882	32,347,000																																																	
		支出②																																																				
		人件費	12,549,000	12,264,237	12,612,413																																																	
		維持管理経費	17,443,882	14,253,953	14,747,477																																																	
事業費・一般事務費	924,000	697,077	836,007																																																			
租税	997,000	1,200,910	1,154,494																																																			
計	31,913,882	28,416,177	29,350,391																																																			
次年度修繕料繰越金③	0	14,110	8,682																																																			
収入－支出 (①-②-③)	0	3,483,595	2,987,927																																																			
<p>・支出実績が支出計画を下回った要因は、暖房用重油価格の値下がり、冬期間の工事に伴う使用量の減少及び除雪費等がかからなかったため。</p>																																																						
自主事業の収支状況	○	<p>収支は黒字であった。</p> <p>収入 1,439,100円 (前年度 1,766,700円)</p> <p>支出 1,330,390円 (前年度 1,393,820円)</p> <p>収支 108,710円</p>																																																				

## 4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	「利用者要望ボックス」及びその結果を生かす仕組みがあった。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要、利用方法及び施設予約状況のほか、各種講座やサークル活動をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 ・意見ポストを設置していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、来館者へも周知していた。 28年度 要望 1件 29年度 苦情 1件、要望 1件 ・随時、担当課(福祉政策課及び障がい福祉課)と相談し、適切に対処した。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程を整備し遵守されていた。
情報公開	○	情報公開の規程を整備し遵守されていた。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取り組み、リサイクルの推進等の対応を適切に行っていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が快適かつ安全に施設を利用できるよう、保守点検等により、設備及び備品の維持管理に努めた。また、定期的な施設点検や「利用者要望ボックス」の設置などにより、事故の防止、設備異常の早期発見及び安全確保に努めた。</li> <li>・今年度も更生館、児童科学館、福祉公民館及び福祉体育館による4館合同避難訓練を実施し、利用者の安全確保に努めた。</li> <li>・種差少年自然の家の接客セミナーや防火管理者講習、AED操作のための研修、県更生保護大会等に積極的に参加し、サービスや施設運営の向上に努めた。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月例報告及び事業報告等が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	18回	4月 6日	課長・担当	施設状況確認
		5月 16日	担当	施設状況確認
		5月 17日	担当	施設状況確認
		5月 26日	GL・担当	施設状況確認及び敷地内状況確認、帳簿等確認
		6月 2日	GL・担当	施設状況確認
		7月 6日	担当	施設状況確認
		8月 24日	担当	施設状況確認
		8月 30日	GL・担当	施設状況確認
		9月 6日	担当	施設状況確認
		9月 20日	担当	施設状況確認
		11月 28日	GL・担当	施設状況確認
		12月 8日	GL・担当	施設状況確認
		12月 13日	担当	施設状況確認
		12月 27日	GL・担当	施設状況確認
		2月 8日	担当	施設状況確認
		2月 23日	担当	施設状況確認
		3月 16日	GL・担当	施設状況確認
		3月 20日	担当	施設状況確認
実施結果				
施設及び敷地の状況を確認したが、利用者が安全で快適に利用できるよう配慮し、適切な施設管理が実施されていた。				

※GL：グループリーダー